



友城耳鼻科会 WEB(6th)



独立行政法人 国立病院機構
名古屋医療センター
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

平成30年4月2日 uploaded

- 手術までの待ちは現在約3か月ですが、当科および手術室の体制が安定すれば今後、手術の待ち日数および手術数の制限はしだいに改善が見込まれます。
- 当院は国際水準の質の高い研究を行うための「臨床研究中核病院」に指定されています。当科としてはTEES（内視鏡下中耳手術）、後鼻神経切断術などの先進的手術も行ない学会活動などを通じて当院独自の情報発信をしております。
- 当科は平成30年秋ごろに人事異動が目白押しです。一時的に外来の待ち時間と手術までの待ち日数が延長することが懸念されますが悪しからずご了承ください。
- 今春「金シャチ横丁」の開業で患者さまの足の便に影響することが懸念されます。なるべく公共の交通機関をご利用ください。

扁桃摘出術・アデノイド切除術・ 中耳チューブ留置術などの 全身麻酔制限

- 平成30年初頭から常勤麻酔科医師の不足により、入院手術までの待ちが延長し、手術待ちが増加し緊急に手術を計画することに支障がでています。麻酔科医師の産休明けのメドが立てば次第に解消に向かう見込みです。
- 当院ではしばらくの間アデノイド・扁桃摘出術と全身麻酔の中耳換気チューブ留置術については可能な限り近隣の病院で受けることをお勧めいたしております。

住所別紹介患者数

やや広域化し守山区、千種区、清須市、天白区が↑しています

紹介患者 市区町村別
(患者住所ベース)

耳鼻科

平成29年12月までの実績 が1件以上のもの	H27	H28	H29 (年換算)	H29.12 まで	増減件数
名古屋市北区	198	220	216	162	-4
名古屋市西区	200	175	160	120	-15
名古屋市東区	95	85	89	67	4
名古屋市守山区	69	70	92	69	22
名古屋市中区	72	65	57	43	-8
名古屋市千種区	34	37	55	41	18
桑名市	37	22	17	13	-5
春日井市	24	17	23	17	6
北名古屋市	22	25	24	18	-1
名古屋市中村区	29	20	21	16	1
名古屋市名東区	26	17	23	17	6
清須市	19	10	24	18	14
名古屋市中川区	17	10	17	13	7
名古屋市昭和区	10	12	4	3	-8
名古屋市天白区	17	2	12	9	10
名古屋市緑区	7	8	9	7	1

新専門医制度の当院での教育体制

耳鼻咽喉科専門研修プログラムの概要

2018年新卒対象

- **プログラムの名称**
 - ① 名古屋大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム
- **研修開始時期と期間**
 - ① 2020年4月1日～2024年3月31日
- **研修コース募集総人員**
 - 8名 7コース
 - A から G コース（原則として1つのコースにつき2名を上限とする）
- **施設群：下記の4群に分けて研修を行う。**
 - 名古屋大学医学部附属病院
 - A群：名古屋第一赤十字病院、刈谷豊田総合病院、中部労災病院、小牧市民病院、市立半田病院
 - B群：名古屋医療センター、トヨタ記念病院、稲沢市民病院、常滑市民病院、名古屋セントラル病院、松波総合病院
 - C群：愛知県がんセンター中央病院、あいち小児医療センター、国立長寿医療研究センター
- **基本的研修プラン**
 - 原則として4年間の研修期間中に少なくとも2施設以上の関連研修施設で研修を行うこととする。

新専門医制度の当院の立場とデータ

- 研修コース例 (B群関連のみ掲示)

2018年新卒対象

1. Aコース

1年目	2年目	3年目	4年目
名古屋大学医学部附属病院	A群またはB群	B群またはA群(2年目と異なる群)	名古屋大学医学部附属病院

B群：1年

3. Cコース

1年目	2年目	3年目	4年目
A群またはB群	B群またはA群(1年目と異なる群)	名古屋大学医学部附属病院	

B群：1年

4. Dコース

1年目	2年目	3年目	4年目
B群	A群	名古屋大学医学部附属病院	A群またはB群

B群：1.5年

6. Fコース

1年目	2年目	3年目	4年目
A群またはB群	名古屋大学医学部附属病院		愛知県がんセンター中央病院

B群：1年

7. Gコース

1年目	2年目	3年目	4年目
A群またはB群	名古屋大学医学部附属病院		C群

B群：1.5年

新専門医制度の当院の立場とデータ

- 当院での基本的経験：1年間の平均症例数（カッコ内は4年間に必要な数）がどのくらいできる

（症例数は年間平均数）

2018年新卒対象

(1) 専門医研修における指導医・病院設備：指導医の資格と指導体制は必要十分。病院の診療科目・基準は必要十分。

(2) 領域別の手術経験：術者あるいは助手として手術の最初から最後まで体験する。

- ✓ 耳科手術 91.9例（20例以上）
- ✓ 鼻科手術 435.2例（40例以上）
- ✓ 口腔咽喉頭手術 134.9例（40例以上）
- ✓ 頭頸部腫瘍摘出術（唾液腺、喉頭、頸部腫瘍等） 44.6例（20例以上）、
- ✓ 頸部郭清術 6.0（10例以上）

(3) 個々の手術経験：術者として手術の最初から最後まで体験する。

- ✓ 扁桃摘出術・アデノイド切除術 134.9例（術者として10例以上）：1年で達成可能
- ✓ 鼓膜チューブ挿入術 17.3例（術者として10例以上）：少子化で減少中
- ✓ 喉頭微細手術 59.8例（術者として10例以上）
- ✓ 内視鏡下鼻副鼻腔手術 180.0例（術者として20例以上）：1年で達成可能
- ✓ 気管切開術 17.6例（術者として5例以上）：1年で達成可能
- ✓ 良性腫瘍摘出術（リンパ節生検を含む） 44.6例（術者として10例以上）

（症例数年間平均はH18-25年の平均値）

週間予定表

平成30年4月1日～

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

	月	火	水	木	金
初診①	小林/石岡	三澤/土井	森永	竹内/土井	小林/伊藤 陽子
再診②	森永	森永	小林	横井	森永
再診③	三澤/土井	石岡/竹内	竹内	石岡	三澤
めまい・顔面 神経・耳鳴 pm		三澤/土井			

pm コール(14 時～翌8時 半)	竹内	小林	石岡	三澤	森永
--------------------------	----	----	----	----	----

外来火曜と病棟金曜担当：第1,3,5週=竹内、第2, 4週=石岡

鼓膜形成術におけるTEES(totally endoscopic ear surgery)の位置づけ



<口演要旨>

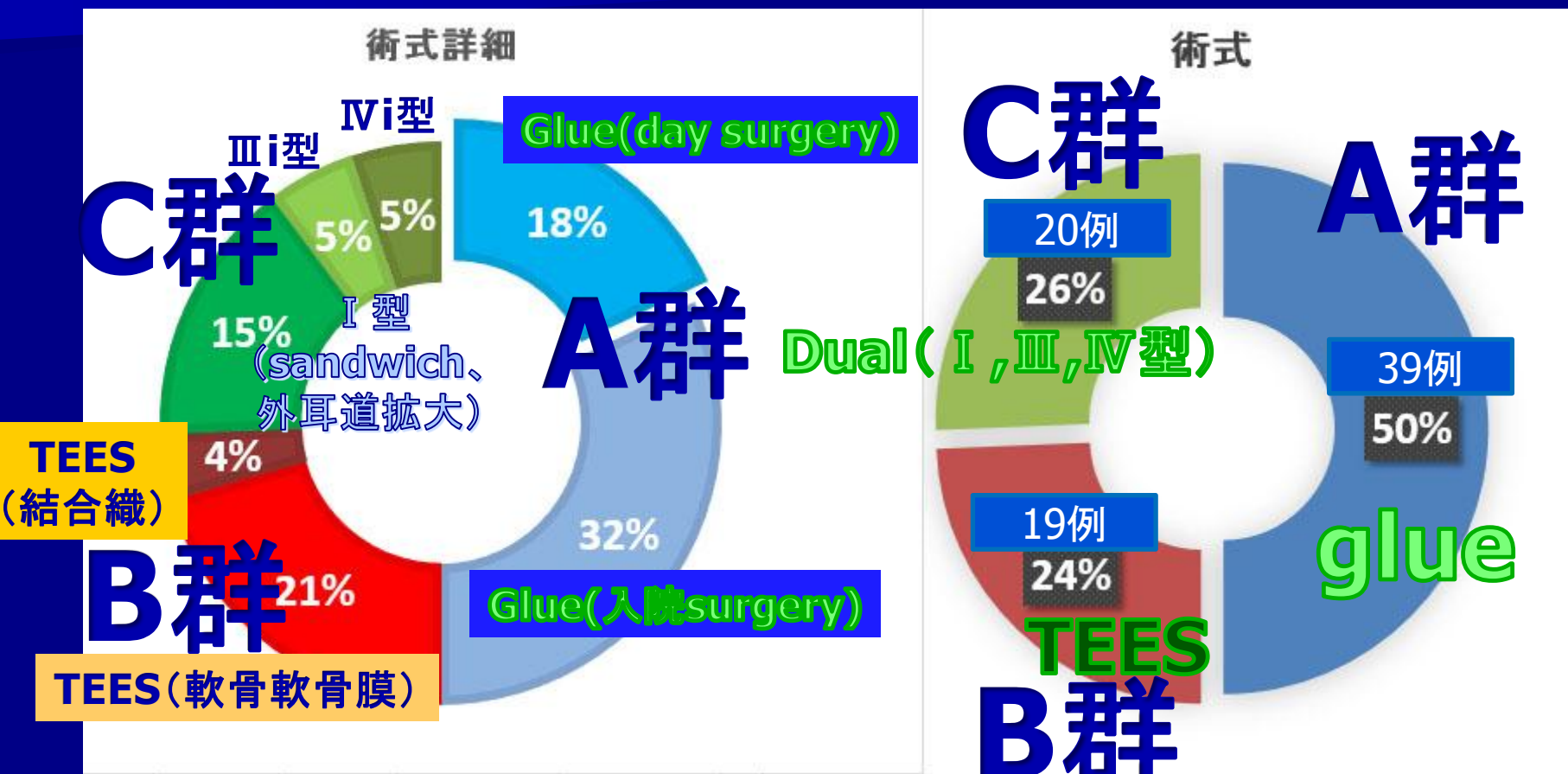
独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター¹⁾
地方独立行政法人 岐阜県立 多治見病院²⁾

○三澤逸人¹⁾、小林圭一¹⁾、森永麻美¹⁾、
石岡麻優¹⁾、竹内佑介¹⁾、伊藤智史²⁾

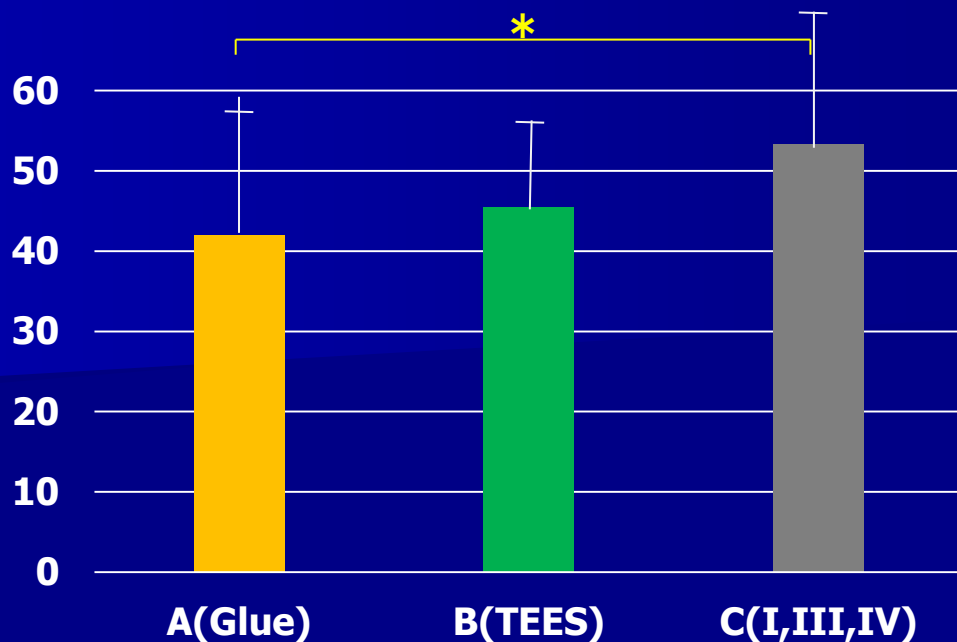
平成29年5月18日

「第118回日本耳鼻咽喉科総会学術講演会」

【鼓膜穿孔治療法：(非真珠腫)7年間】

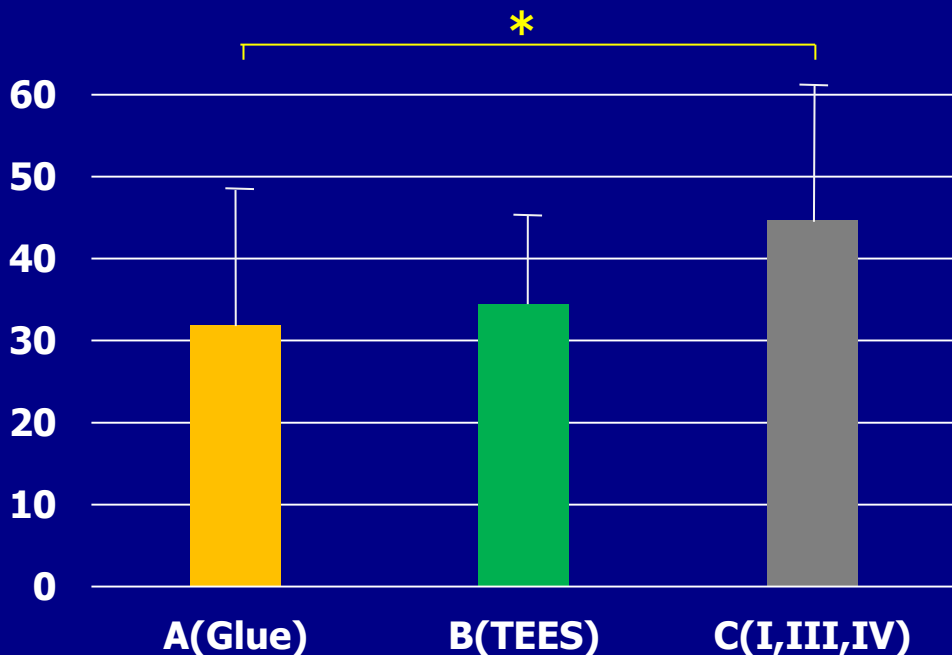


術前聴力



TEESはほぼ中間

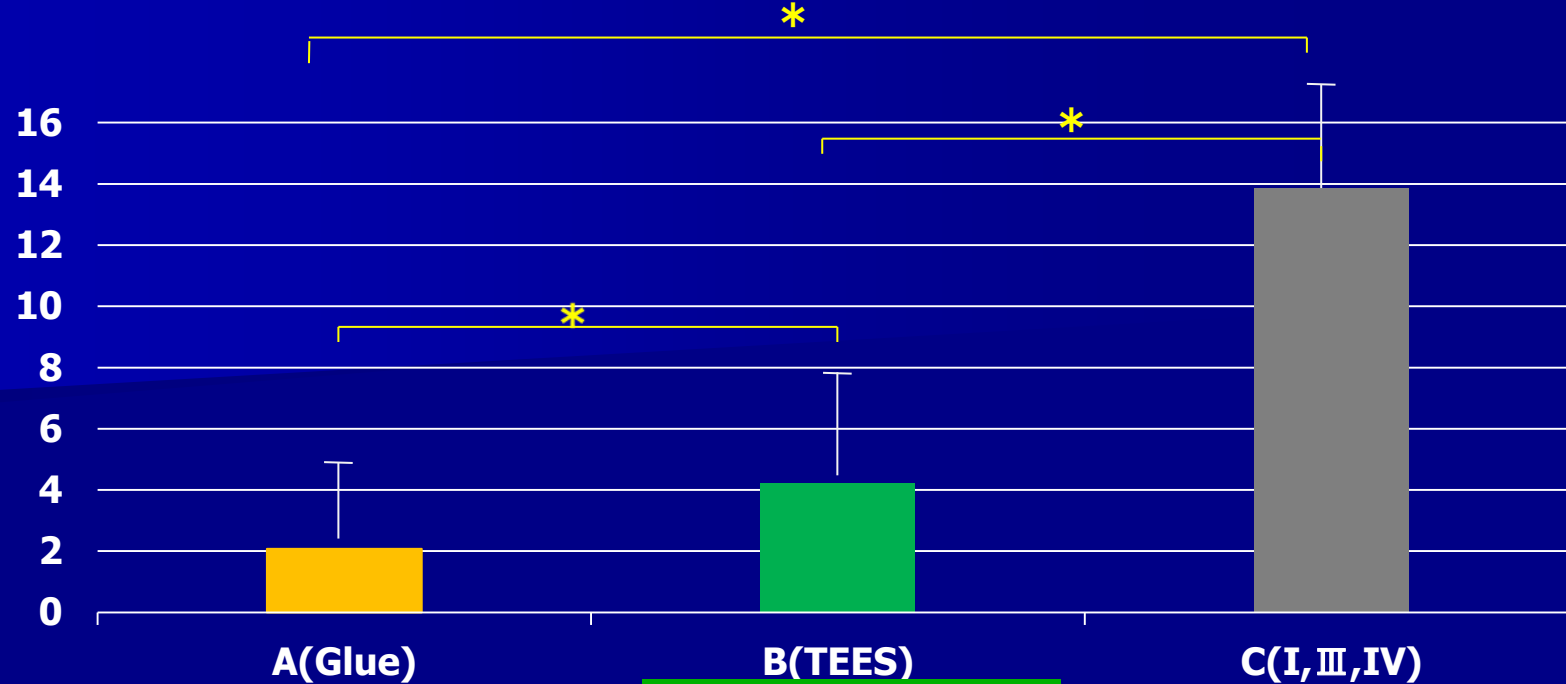
術後聴力



TEESはほぼ中間

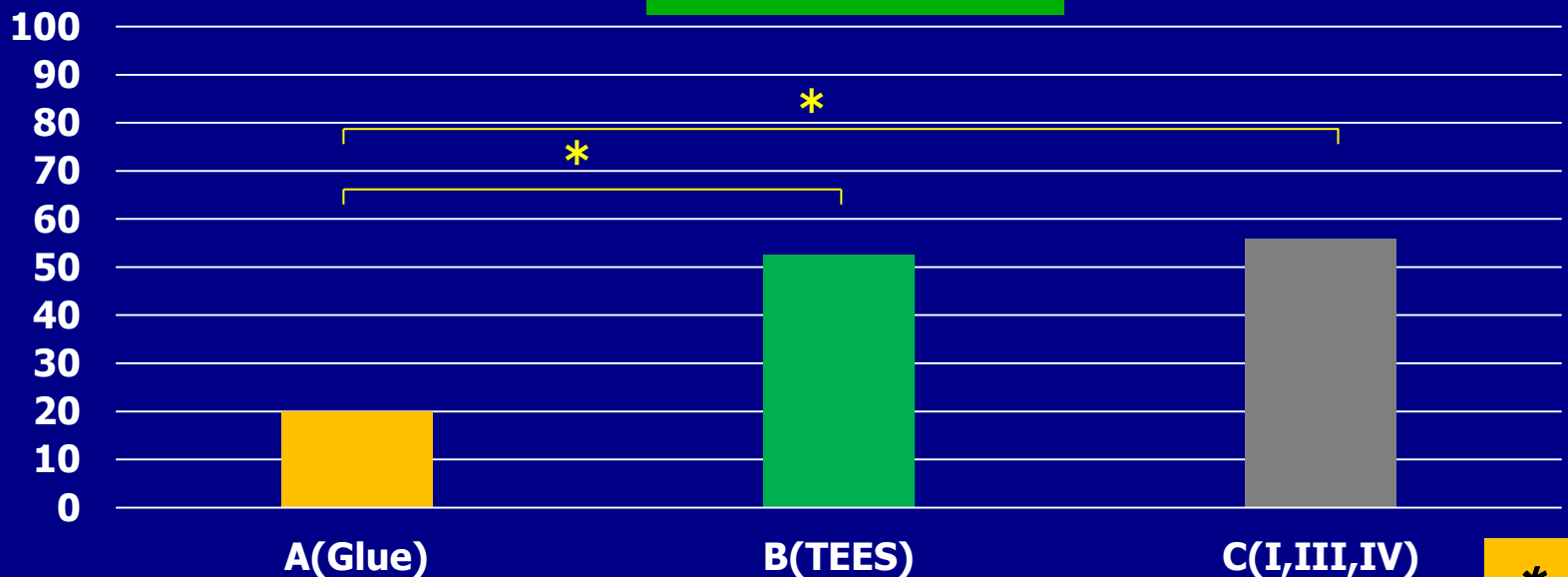
* < 0.05

入院日数(日)



TEESはほぼ中間

全身麻酔(%)



* < 0.05

2009.4~2016.7(7years)

鼓膜穿孔治療法	A(接着法)	B(TEES)	C(I,III,IV型)
術前聴力	42.5dB	47.3dB	55.1dB*
術後聴力	32.4dB	36.3dB	46.5dB*
Gain(dB)	+10.1dB (8.7Mo)	+11.0dB (8.3Mo)	+8.6dB (11.2Mo)
大再穿孔Ⅱ,Ⅲ度 (Φ>4分の1周)	8.1%	5.3%	10%
全大・小再穿孔 (all I,Ⅱ,Ⅲ度)	18.9% (8.7Mo)	21.1% (8.3Mo)	20% (11.2Mo)
全身麻酔率	20.5%	52.6%*	55%*
Day surgery率	35.9%	0%*	0%*
入院日数	2.1日	4.3日*	14.4日*
N	39	19	20

* < 0.05

【結語(市中病院のTEESはどうあるべきか)】

- 穿孔： 日帰りできない、大きめ、全周がMicroで見えない
- 難聴： Patch test(+)、伝音再建・あぶみ骨周囲の操作不要
- 中耳手術においてMicroscopicとTEES両者の長所/短所を良く理解した上で、CT上最狭部直径：**5mm以上**が適応と言える

< 軽症A:glue >
< 中等症B:TEES >
< 重症C:Micro >

現時点での推奨症例

TEESのtarget病変：
耳小骨病変のない中等度病変
(Φ5mm未満・除外)

連携医からの
耳鼻科急患受け入れ体制

<<救急部取り決め>>

平成29年2月16日
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

参考：名古屋市医師会急病センター

受付時間・診療日・診療科目

診療日・診療科目		受付時間		
		9:30~12:00 13:00~16:30	17:30~20:30	20:30~翌6:00
平日	内科・小児科			● (19:30~)
	小児科専門医			● (~23:00)
土曜	内科・小児科		●	●
	小児科専門医		●	● (~23:00)
日曜・祝日 年末年始	内科・小児科	●	●	●
	小児科専門医	●	●	
	眼科・耳鼻咽喉科	●	●	

※診療開始時間は原則受付時間の30分後からとなります。

連携医から耳鼻科救急受診患者 受け入れの流れ

☆平日夜間(17:00~翌日8:30)

当院で受け入れし、必要時耳鼻科医オンコール

☆土曜日(12:30~翌日8:30)

①二次輪番病院

②当院

☆日曜日・祝日・年末年始

①名古屋市医師会急病センター(9:30~20:30)

②二次輪番病院

③当院

※急病センターや二次輪番病院をご案内する際は丁重に対応

☆当院耳鼻咽喉科に数ヶ月以内(最長1年)に受診歴がある

再診患者は、基本耳鼻科医オンコール

地域医療支援病院必要条件

平成19年より

- 他の病院や診療所からの紹介患者に対する医療の提供
- 院外からの病院施設、設備等の共同利用の実施
- 救急医療の提供
- 地域の医療従事者の資質向上を図るための研修の実施
- 症例検討会
(可能ならば多職種で行うこと)



医療関係者の皆さまへ

平素は当院の地域医療連携に格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。私どもの施設では、地域連携を充実させるため「金鯢メディネット」という情報共有システムサービスを行っております。現在 100 名余りの先生方にこのシステムをご利用いただいております。

貴院のインターネットより、当院の電子カルテのサーバーにアクセス、暗号化したデータを送信することにより、個人情報を保護しながら、カルテの内容をご覧いただくシステムです。設置費用は無料です。

ご関心・ご希望がございましたら、ぜひ下記にご連絡ください。デモンストレーションをご覧いただき、納得された時点でこのサービスをご利用いただく事が出来ます。どうぞご検討ください。

名古屋医療センター地域医療連携室

電話 052-951-1206

9:00~17:00

担当 看護師長 和田 SE 山田



金鯢メディネット

この機会にご
登録をお願い
いたします

利用時間: 8:30~23:00

公開患者さん: 紹介・逆紹介の患者

公開日: 60日間

費用: 無料

どうぞ
ご利用ください